

令和2年度 事業報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日

概 要

令和2年に入り、我が国を含め全世界で新型コロナウイルス感染症が広がりました。このため、人々の命と健康を守るため、世界中で医療体制の整備やワクチン等の研究開発などが懸命に進められ、我が国では、本年2月から医療従事者、高齢者と順次予防接種が進められています。

同時に、社会・経済活動の停滞により影響が及んでいる雇用や家計に対し前例のない様々な対策がこれまでにない規模で実施されています。そして、こうした緊急的な対応とは別に、いわゆる「3つの『密』」の回避やソーシャル・ディスタンスの確保が求められる中、私達の日常生活のあり方や働き方も大きく様変わりしています。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、今後、各種政策の効果等による持ち直しの動きが期待されているところです。

こうした中、当シルバー人材センターの令和2年度事業内容は、シルバーの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づき、当初事業計画の「生涯現役センターの充実」「会員の確保と増強対策」及び「安全・適正就業の推進」などを重点として取り組みました。

先ず、「生涯現役センターの充実」につきましては、多様な高齢者向けの仕事の創出のため「樹木の剪定・生垣作り技能講習」、「しめ縄飾り作り講座」、働く意欲のある高齢者の発掘や担い手化を図るため「スキンケアセミナー」、「感染症予防対策健康講座」「パソコン講座」「スマホ講座」を開催し、会員さん48名、一般の方41名の合計89名の参加をいただきました。

次に、「会員の確保と増強対策」につきましては、会員による友人等への勧誘活動、県下一斉普及啓発Day 用ビラの地域内各コミュニティセンターへの配布、「ホームページ」のリニューアルによる会員募集や求人案内の掲載及び毎月開催している入会説明会では、参加者にシルバーの事業内容等を十分理解していただくなど、積極的に推進しました。

入会説明会には、袋井地区が73名、浅羽地区が16名、森地区が16名で合計105名の方に参加いただき、入会者数は、男性41名、女性17名、合計58名の方に入会いただきました。

なお、定年制度の撤廃や70歳まで延長による影響で、60歳代の入会者が減少しています。また、退会者につきましては、男性35名、女性22名、合計57名の方が、自身の加齢や病気、家族の介護等家庭の事情によるものでございました。これにより、3月末の会員数は463名と昨年度より1名増員となりました。

次に、事業の概要ですが、受託事業の収入は282,465千円余となり、前年度280,951千円余で、前年度対比0.5%増、1,514千円の増額で、受託件数は、公共214件、民間1,139件、一般家庭2,102件、合計3,455件となり、就業延人員は55,916人となりました。

また、労働者派遣事業の推進ですが、シルバー会員を派遣労働者とし、静岡県シルバー人材センター連合会と雇用関係を結び、「臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務」の範囲内で、派遣先である会社などの指揮命令により働くもので、会員の働き方の選択肢を増やすことができるようになりました。

この派遣事業により、専門的な知識、経験などが求められる仕事も受託でき、会員の働き方の選択肢を増やすことに加えて、会社側に会員の長年培った豊かな経験と知識や専門的な技能等を継承することが可能になりました。

当シルバーの派遣事業は、令和2年度には、契約件数が25件、20名の会員の方を派遣し、派遣事業の収入は15,863千円余、金額にして429千円の減額になり、受注件数は、公共2件、一般企業などが23件の計25件、就業延人員は3,215人となりました。引き続き、派遣事業の拡大を積極的に推進し、就業機会の確保と会員の拡大に努めてまいります。

次に、「安全・適正就業の推進」につきましては、シルバーの会員が就業する上で、「安全はすべてに優先する」を念頭に、健康管理と安全就業対策を最も重要として、「事故ゼロ」を目標に、安全・適正就業委員会が安全パトロールを各地区2～3回実施しました。

なお、事故発生状況は、草刈り作業中における自動車窓ガラスの破損等賠償事故が9件、傷害事故は草刈り・剪定作業中に誤って身体を切傷したり、蜂に刺されるなどで9件、合計18件の事故が発生しました。

今後におきましても、役職員を始めとし全会員が一丸となり、安全就業の徹底と会員の確保、就業機会の拡大を推進するとともに、公益社団法人としての組織強化を図りながら、地域社会への貢献を目指して参ります。

以下、令和2年度事業の実施状況を報告致します。